

December 2009 Vol.31

ウーラノス

Orpianos

女子剣道の最高峰に県代表で出場

文学部4年 佐藤 佳世さん

2009年9月に静岡県で開催された剣道の全日本女子選手権。女子の大会では最高峰といわれる大舞台に、現役の学生としては初めて宮城県代表として出場しました。

忘れられないのが、3年のときの東北学生女子優勝大会。「団体戦の大将だったのに、調子が悪くて自信がないからと、ほかの選手に代わってもらいました。結果は敗退。全国大会出場も逃してしまっ……。それ以来、絶対に逃げてはダメだと思うようになりました」。父親の影響で剣道を始めて12年。「恩師や先輩、後輩など、本当に多くの人に支えてもらいました。親にも感謝の気持ちでいっぱいです。将来は教員をめざし、ぜひ剣道と仕事を両立させていきたいですね」。



同窓会の役割と同窓会への期待

東北学院大学の今後の教育・研究の進展をはかっていくためには、同窓会との協力が重要であると思います。18歳年齢人口の減少にともなう大学入学志願者の減少傾向や、昨年の秋以降の世界的な景気減退とそれに伴う学生諸君の就職状況の悪化傾向などを克服するために、大学卒業後に社会で活躍している卒業生の皆様の、すなわち優れた多数のOB・OGの存在が大きき力になっています。これらの方々の社会における諸活動、ご貢献のおかげで「東北学院大学の卒業生は信頼できる」と評価されていることは大変有難いことです。そこで、今回は東北学院同窓会の概要を紹介し、東北学院大学(あるいは学校法人東北学院)と同窓会との協力の在り方について考えてみたいと思います。

さて、1903(明治36)年11月25日に24名の同窓生により結成された東北学院同窓会は、平成21年春に3,471名の会員を迎え、今日では157,179人の会員を擁するまでに発展して参りました。現在、東北学院同窓会には北米支部をはじめ全国に83支部と主に職域を同じくする115のTG会が組織されております。同窓生は「地の塩」「世の光」として経済界、産業界、医学界、教育界、官界、政界、社会事業方面、そしてそれぞれの地域で活躍されております。このことの例をあげれば、東北地方における大きな企業や官公庁で働いている方々、地方議会の議員諸氏などにおいては、国立大学、公立大学、私立大学のどこよりも東北学院大学の卒業生が多数活躍されています。これらのことは、卒業生や在校生にはあまり知られていないことかもしれませんが、特に強調しておきたいと思います。また、同窓生の活躍は日本国内にとどまらず、戦前からの先進的な英語教育の成果などを踏まえて、国際的な活躍をされている同窓生も多数おります。

私自身、東北学院中学校・高等学校で6年間学び、1960(昭和35)年に東北学院高等学校を卒業した同窓生であり、東

北学院の同窓生であることを誇りに思っています。高校卒業後は、大学と大学院、そしてその後の教職期間を含めて約40年間を国立大学で過ごしましたが、2004(平成16)年4月に東北学院大学長として母校・東北学院に迎えられました。さらに、2007(平成19)年4月からは東北学院学院長をも拝命し、現在に至っております。

東北学院同窓会では、永年にわたり学院長が自動的に東北学院同窓会長に就任していましたが、このことを改め、会長、副会長、監事、常任委員及び代議員は全て同窓生の中から選任することにしました。特に、従来は、副会長に大学長・高等学校長が就任しておりましたが、今回からは、6人全てを学外の卒業生から選出することに致しました。平成20年12月15日の臨時総会で会則を大きく改正し、平成21年5月15日に開催した代議員会で会長、副会長及び監事等の役員を正式に選任いたしました。私は、そこでご指名を受け、皆さんからご賛同が得られましたので、改めて、卒業生として東北学院同窓会の会長をお引き受けすることになりました。このように、現在では、卒業生と同窓会の距離を近くして、多くの卒業生の皆様の声を同窓会の運営に反映し易くするように大幅に運営を改定しております。多くのOB・OGからのご意見を反映した学校運営をして参りたいと願っております。このことが、さらに学校運営においても、卒業生の就職環境・条件などの向上や、入学志願者の増加につながっていけばさらに嬉しいと思っております。

東北学院同窓会は今年で設立106年目を迎えますが、この伝統を誇る東北学院同窓会が更なる発展を期し、母校を応援する最大の組織となるために、会長としても、皆様方からお力添えをいただきながら微力を尽くして参る所存です。どうぞ、学校法人東北学院、ならびに東北学院同窓会に対して、ご支援、ご協力をお願い申し上げます。



学長
星宮 望
Nozomu HOSHIMIYA





工学部と地元の研究機関が、 新型センサを共同開発



新型センサの研究開発には、工学部の学生もメンバーに加わっています。



大学が培ってきた“知の財産”を地域のために活かしたい。本学では、そんな願いからさまざまな形で地域貢献に取り組んでいます。地元企業や自治体との共同研究もその一つ。今回は最新技術を活かした工学部の取り組みをご紹介します。

工学部では、独立行政法人科学技術振興機構の助成を受け、財団法人電気磁気材料研究所、仙台高等専門学校、宮城県産業技術総合センターと協力しながら、新たな磁気センサの研究開発に取り組んでいます。

これは心臓や脳から出るわずかな磁場をセンサでとらえようというもので、心電図ではわからないような心機能の変化をキャッチすることが可能です。すでに実用化されている従来型センサと比べて、価格を100分の1程度まで抑えられるのが最大の特徴です。

「もし実用化に成功すれば、小さな医療機関でも導入できるようになります。例えば子供の癲癇(てんかん)などの治療にも役立つはず。工学部の研究の成果が幅広く社会の中で活かされるのは、研究者としては大きな誇りにつながります。これからも自分たちの技術に磨きをかけていきたいですね」と話すのは、工学部でこのプロジェクトの代表を務める藪上信准教授です。もちろん医療の分野だけでなく、食品への不純金属の混入の調査や、原子力発電所の配管の傷の検査などへの応用も見込めるとか。

大幅なコストダウンが図れるため、各方面からも熱い視線が注がれている新型センサ。工学部発の技術が、また一つ実用化に向けて動き出そうとしています。

数

東北学院大学
字で見る

15
学科

2011年4月、キリスト教学科を改組し、総合人文学科がスタート。東北最大の私立総合大学として、さらに新たな可能性が広がります。

東北学院の教育の中核をなすキリスト教に基づく人文学教育(ヒューマニティーズ)を担ってきた文学部では、既存の英文学科、歴史学科に加え、2011年4月にキリスト教学科を改組し、総合人文学科をスタートさせる予定です。

2011年5月には東北学院創立125周年を迎える中、本学は6学部15学科を擁する東北最大の私立総合大学として、ますます期待が高まっています。より懐の広い大学として、学生一人ひとりの個性を伸ばしながら、これからの時代にふさわしい人材を社会に送り出していきたいと思います。

01 東北学院大学博物館が開館



開館式の様子。



本学のさまざまな研究を通じて蓄積された知的財産を収蔵し、展示公開することを目的として、待望の東北学院大学博物館が11月18日(水)に開館しました。

開館式では、星宮望大学長と辻秀人館長の挨拶に続き、テープカットが行われ、関係者による見学会が催されました。館内には、賀籠沢遺跡や西の浜貝塚、大塚森古墳などの貴重な資料のほか、本学の学祖である押川方義に関連した資料など、多数の収蔵品を展示公開。案内役を務めた館長の説明に、皆さん真剣な表情で聞き入っていました。

本学の博物館学芸員資格課程の実習の拠点としてはもちろん、学生の教育の場、地域の交流の場としても期待される本学の博物館。まだ生まれたばかりの博物館ですが、地域の皆さんとともに、これから一歩ずつ着実に成長してまいります。



博物館の外観。

- 開館時間／9:30～17:00(入館は16:30まで)
- 休館日／日曜日、祝日・休日、大学の定める休業日
- 入館料／一般200円(未就学児や児童、生徒、学生、65歳以上の方など無料)
- 駐車場／身体障害者等用駐車場3台

◎場所は土樋キャンパスに隣接する本学中央図書館の東隣。

お問い合わせは、TEL.022-264-6920まで。



02 東北学院大生のための合同企業セミナー



平成21年度「東北学院大生のための合同企業セミナー」が、9月10日(木)に仙台サンプラザホールで開催されました。全国的にも有名な企業や、地元で活躍する企業など、60社を超える企業が参加。リクルートスーツに身を包んだ学生たちは、各担当者の説明を真剣な表情で聞いていました。

何人かの学生に声をかけたところ、「チャンスの幅を広げるために、できるだけ多くの企業の声を聞くようにしています」「就職課が全面的にバックアップしてくれるので、とても心強いですね」「学院大生の“やる気”を評価してくれる企業が、こんなにたくさんあるのは嬉しいです」などといった感想が聞かれました。

厳しい就職戦線を勝ち抜くために、本学では他にもさまざまな形で就職支援を行っています。

03 インターンシップの 事前研修会から体験報告会まで



事前研修会の様子。

実際の職場で仕事を体験するインターンシップ。7月13日(月)には事前研修会が行われ、リクルートスーツに身を包んだ3年生が、社会人としてのマナーや知識、正しいお辞儀の仕方などを学びました。7月21日(火)はホテルで受け入れ事業所との顔合わせ会も行われました。インターンシップが終わると、10月23日(金)には体験報告会が行われました。

夏休みを利用してインターンシップに参加した3年生は246名。本格的な就職活動に向けて、ぜひその体験を活かしてください。



受け入れ事業所との顔合わせ会の様子。

04 ホームカミングデー (第10回同窓祭)



10月17日(土)、「懐かしい出会いがそこにある」をテーマにホームカミングデー(第10回同窓祭)が開催され、記念礼拝や記念式、パイプオルガンコンサートが行われました。記念式では本学の星宮望学院長・大学長の挨拶に続き、ユアテックTG会長の鎌滝敬司氏が同窓生を代表して挨拶を行いました。

この日、会場となった土樋キャンパスでは六軒丁祭が同時開催され、学生時代を懐かしみながら出店をのぞき込む姿も見られました。東北学院の同窓生総数は157,179名(2009年10月1日現在)。校友の輪は、さらに大きな絆となって広がり続けています。

05 オリエンテーション・リーダー会 50周年記念祝賀会

1960年に全国の大学に先駆けてスタートした本学の新生オリエンテーション。3L精神に基づき、新生の世話役を務めてきたオリエンテーション・リーダー会の50周年記念祝賀会が、9月19日(土)にホテル仙台プラザで開催されました。

これまで3,000名を超えるオリエンテーション・リーダーを輩出してきましたが、この日、全国から集まったという歴代のリーダーは300名以上。「オリエンテーション・リーダー会50周年の歩み」と題し、懐かしい写真の数々が披露されると、あちこちから盛んに歓声があがりました。

何人かの皆さんに声をかけたところ、「みんなで議論を重ねたことは、生涯忘れることのできない思い出です」「人前に立った経験は、社会に出てからも大いに役立っています」「リーダー会は自分の原点。大きな自慢の一つですね」などと笑顔で応えてくれました。

最後は全員で肩を組んで校歌を大合唱し、リーダー会の今後ますますの発展を願いながら、お互いの再会を誓い合いました。



06 笑顔と個性が“百花繚乱”の大学祭

2009年度の大学祭のテーマは「百花繚乱」。たくさんの笑顔とさまざまな個性で満開になる大学祭にしたいという学生たちの熱い思いを一つにして、10月11日(日)～12日(月・祝)の泉キャンパス祭と、10月16日(金)～18日(日)の六軒丁祭が開催されました。

会場となった泉、土樋の両キャンパスでは、個性満載の特設ステージや、バラエティー豊かな出店、各教室での展示・発表など、各サークル・団体が自分たちの個性を咲かせました。16日(金)には、仙台市中心部のアーケード街で、華やかな仮装パレードも繰り広げられました。



泉キャンパス祭の様子。



六軒丁祭の様子。

07 工学部祭也大盛況



10月10日(土)～11日(日)は、2009年度の工学部祭が多賀城キャンパスを会場に開催されました。今回のテーマである「LINK」は、「Laboratory・Idea・New・Key」の頭文字を集めたもので、研究によって新しいアイデア(鍵)を生み出す場所が工学部であるという意味が込められました。

さまざまなステージ企画や、サークル・研究室の露店、研究室の公開など、工学部ならではのアイデアが詰まった2日間。学生と地域の皆さんが触れ合う姿は印象的でした。

08 第21回泉キャンパスクリスマス・第60回公開東北学院大学クリスマス



12月4日(金)の「第21回泉キャンパスクリスマス」と、12月11日(金)の「第60回公開東北学院大学クリスマス」。本学独自のクリスマス行事が、泉キャンパス礼拝堂、土樋キャンパスラーハウザー記念礼拝堂でそれぞれ行われました。

泉キャンパスでは、パイプオルガンの演奏や聖歌隊による合唱、キャンドルサービスなどが披露され、地域の皆さんとともに楽しいひとときを過ごしました。また、土樋キャンパスでは、聖歌隊と室内アンサンブルによる「メサイヤ」の演奏などが行われ、クリスマスらしい厳かな雰囲気に包まれました。

このほか、大学生対象のクリスマス礼拝が各キャンパスで行われました。

09 市民公開講座「身のまわりの環境と防災」

9月9日(水)～10月14日(水)の毎週水曜日、全5回にわたって市民公開講座「身のまわりの環境と防災」が開催されました。多賀城市との連携で行われたもので、会場となった多賀城キャンパスには、多賀城市内はもちろん、仙台市や石巻市などからも参加者が集まり、「土の不思議」や「地震と地盤」、「土の汚染」など、土に関わる環境と防災について知識を深めました。



10 秋の2つのオルガン演奏会



芸術の秋にふさわしいオルガン演奏会が、10月31日(土)は多賀城キャンパス礼拝堂で、11月19日(木)は泉キャンパス礼拝堂で開催されました。当日は地域から多くの皆さんが集まり、パイプオルガンの美しい調べに聞き入っていました。

11 留学生による茶道体験



9月24日(木)、泉キャンパスで留学生による茶道体験が行われました。ドイツやアメリカ、韓国から来た留学生にとって、茶道は生まれて初めての体験。不慣れな正座に苦労しながらも、邦芸部の学生と一緒に茶道の基本を学びました。茶道のほか、華道や柔道、剣道も体験しました。

12 ～市長と話そう～ 気軽にちょっと茶つと



12月2日(水)、多賀城キャンパスを会場に、多賀城市の菊地健次郎市長と工学部の学生による懇談会が開催されました。協働のまちづくりをめざす市民との対話事業の一環として開催されたもので、学生の間からは活発な意見が出されました。

こけしの
コレクション



柳井雅也先生

教養学部

こけしを集めるのが趣味だった父の影響で、子供の頃からこけしの魅力に惹かれています。こけしを創っている工人のもとへ足を運ぶほどの入れ込みようで、その数は3,000本あまり。特に東北の伝統こけしが好きで、その素朴な雰囲気には心を奪われています。

こけしには東北の心が凝縮されています。東北を代表する伝統産業の一つとして、地域の個性を浮き彫りにしているところが、大きな魅力につながっています。

私自身、ずっと「地域」をキーワードに研究を続けていますが、地域をもっと元気にしたい、地域の魅力を再発見しようという熱い思いは、こけしが教えてくれたような気がしてなりません。父から受け継いだコレクションの数々は、蔵王町内のこけし館に寄贈することになっていますが、こけしを通じて郷土への恩返しができるのなら、自分としても本望だと思っています。

(担当科目/経済地理学)



こけしの本一本に、工人たちの生き様が映し出されています。

ウルトラマン



下倉 渉先生

文学部

私が生まれた年に、ちょうどウルトラマンのTVシリーズが始まったこともあり、物心がついた頃からずっとウルトラマンのファンです。自分の子供の名前も主人公の苗字にあやかって命名したほど、大人になった今でも入れ込んでいます。今は親子で楽しむことが多いので、ウルトラマンに対する情熱は、わが子にも脈々と受け継がれているはずです。

初期の頃のウルトラマンは、脚本が大きな魅力でした。一つひとつのエピソードに、時代背景や人間ドラマが垣間見えるのは興味をそそられます。

ウルトラマンは1960年代に誕生したヒーロー。時代を超えて多くの人に愛されるのは嬉しいことですが、現代を反映した新たなヒーローが生まれて欲しいという思いもあります。仕事で中国に行くと、まがい物のウルトラマンが売られているのをよく見かけます。いつかは東アジアにおけるウルトラマンをテーマに、あれこれ探求してみたいですね。

(担当科目/中国中世史)



学生からプレゼントされて、いつの間にかいっぱいになってしまったという怪獣の人形。

マルチな趣味



武田三弘先生

工学部

実をいうと、人一倍多趣味です。サッカーは小4からやっていて、今も教職員のサッカークラブでプレーしています。年に2回ほど、教職員のテニスクラブの試合にも出場。我流ではありますが、3年前にゴルフも始めました。

子供の頃から釣りが大好きで、休みの日はよく船釣りにも出かけます。市販の仕掛けだけでは物足りず、手芸用のビーズを買ってきて、手製の仕掛けをつくったりすることも。また、猫の絵を描くのも私の趣味の一つです。モデルはわが家の飼い猫で、もっぱら家内の喜ぶ顔が見たいという一心で描いています。仕掛けをつくったり、愛猫の絵を描いたりしていると、無心になれるのがいいですね。

最近は園芸にも夢中ですし、陶芸にも興味があります。自分なりに考えながら、何かを創り出すこと。それが私の趣味の原点だと思っています。

(担当科目/コンクリート工学)



愛猫の絵。リアルな鉛筆画が印象的です。

誌上ディスカッション

今回のテーマ 夢中になっていること

discussion

一つのテーマに対して、学生や教職員たちはどう思っているのか、キャンパス内の声を集めたこのコーナー。今回は「夢中になっていること」をテーマに聞いてみました。



音楽ライブを中心に、DVD鑑賞に夢中です。
2年生・遠藤さん

中学校時代は吹奏楽(トランペット)に夢中!
2年生・及川さん

ソフトボール部に所属。インカレをめざして燃えています!!
2年生・我妻さん



議事運営委員会の活動に夢中です。
4年生・佐藤さん

高校時代はハンドボールに夢中でした。
2年生・小松さん



ゼミ(ものづくりの国際経営戦略)に夢中です。
3年生・佐々木さん

美術系の学外サークルに所属。アートに夢中です!
3年生・及川さん

奇術研究会に所属。マジックに燃えています!!
3年生・羽賀さん



就活ガンバルゾ〜ツ!!

3年生・佐々木さん・大本さん・工藤さん・菊地さん
(写真左から)



侍(さむらい)に夢中。特に新撰組が好きですね。
3年生・鈴木さん

亀の飼育に夢中です。…生き物は大切に。
3年生・武者さん

栄養バランスを考えた安くおいしいお弁当を提供しています。
東北学院大学生協
鈴木さん



アルバイト委員会をはじめ、学生会の活動に夢中です。**3年生・西村さん**



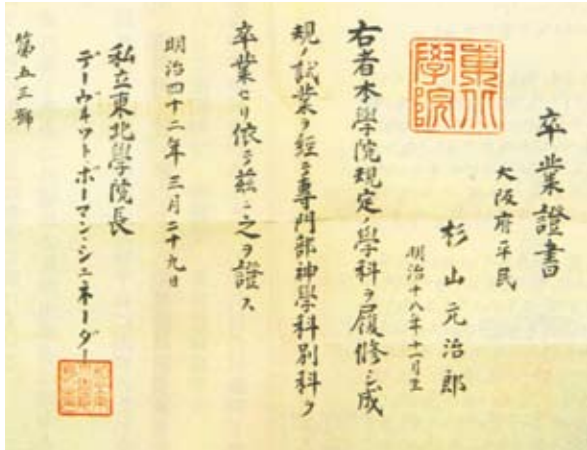
皆様のご意見をお待ちしております。

編集室では「夢中になっていること」というキーワードにちなみ、読者の皆様からのご意見やご感想を募集中です。ご応募は、住所・氏名・連絡先をご記入のうえ、下記のメールアドレスあてにお送りください。

E-mail : uranos@t-gakuin.jp

杉山元治郎の牧師就任と罹病

経済学部教授 岩本 由輝



杉山の東北学院専門部神学科別科の卒業証書

杉山元治郎さんは1909年3月29日、東北学院専門部神学科を卒業します。卒業式において杉山さんは神学科別科卒業生を代表して答辞を読んでいます。卒業時の別科の記念写真がありますので揚げておきましょう。前列左から3人目(池田亀之助)と4人目(杉山元治郎)、右から2人目(菅井喜七)と3人目(堀内眞澄)が別科の卒業生です。いずれも本誌29号で紹介したクロス協会のメンバーです。写真でわかるように、杉山さん以外の3人はかなり年長です。まわりにシュネーダー院長はじめ先生やスタッフがおりますが、ちょっと見ると、誰が生徒か先生か分からないのが当時の神学科別科の生徒だったのです。杉山さんもそうでしたが、多くが社会人入学でした。

杉山さんは卒業を前に日本基督教会東六番丁教会(現日本基督教団仙台東六番丁教会)の牧師に赴任することが決まっていた。1909年2月9日に東六番丁教会長老の上田郁さん、山岸嘉兵衛さんが杉山さんを訪ねて来て、牧師への就任を依頼し

ました。杉山さんはこの日の『日記』に、

自分には大事業である。荒れ果てたる古教会、色々の問題もあらう、又、俸給は食糧に足るや足らずや、されど主よ、我は信ず、汝は我を見捨て給はざること

を。今富過ぎし苦を思へり、幾度か孝勝寺の森に祈りし時を。主よ汝は今まで生命を長らへさせ給へり。故に我は信ず。汝に任けるものを捨てず、又、家族も良きに過ぎさせ給うことを、主よ心の俣になし給へ、我は只汝の手足となり働かん。

と書き、受諾の決意を示しています。「孝勝寺の森に祈りし時」とある孝勝寺は、日蓮宗の寺院ですが、そこに接して東北学院労働会の

乳牛の飼育場があり、杉山さんたちはよくそこに行き、讃美歌を唱ったり、祈祷をしています。孝勝寺の記録には、「リフォームド・ミッションの農政部」という表現で出てきます。ちょっと面白い取り合わせです。

杉山さんは、1908年10月1日から、みずからの最初の凶書となる『通俗福音物語』の筆を執りはじめ、1910年7月に中庸堂から上梓されていますが、シュネーダー院長と芝教会牧師星野光多さんの2人が序文を寄せています。

ただ、杉山さんは東六番丁教会の牧師になって間もなく、肺浸潤にかかり、1909年10月14日に東六番丁教会牧師を辞任しています。肺浸潤は肺結核の初期症状であるが、10月3日に虎岩医院の虎岩頼重さんから、このことを告げられたとき、杉山さんは絶望的な心境に陥っています。それほど結核は恐ろしい病気であったのです。とにかく泉佐野の実家に帰ります。



杉山の卒業時の記念写真

(写真上段左から) 醍醐晃、伊藤鉄蔵、木村久一、鎌田國為、五十嵐正、ゲルハード、清水東四郎
(写真中段左から) ミス・ゲルハード、スタイナー、伊藤嘉吉、須藤鬼一、郡山源四郎、ザウグ、
笹尾桑太郎、梶原長八郎
(写真下段左から) 横田秀明、熊坂登三郎、池田亀之助、杉山元治郎、シュネーダー、出村悌三郎、
堀内眞澄、菅井喜七、原正男



キャンパスカレンダー

1 January

16 SAT ▶ 17 SUN 大学入試センター試験

2 February

1 MON ▶ 3 WED 一般入試(前期日程)

3 WED 外国人留学生特別入試

8 MON ▶ 10 WED 企業研究セミナー 会場: 仙台サンプラザ

15 MON ▶ 26 FRI 第34回英会話集中訓練コース(春季)

3 March

4 THU 社会人特別入試(B日程)・編入学試験(B日程)

5 FRI 一般入試(後期日程)

24 WED 平成21年度卒業式

4 April

5 MON 平成22年度入学式

◎入試に関する詳しい日程は、大学のホームページをご覧ください。

TGUインフォメーション

Information

平成21年度卒業式

3月24日(水) 時間 11:00~12:30 場所 仙台市体育館(仙台市太白区富沢)

卒業生を社会に送り出す大切なセレモニー。キリスト教大学にふさわしく、賛美歌を歌い、聖書の言葉を聴く礼拝形式で執り行います。

お問い合わせ先/総務部総務課 TEL.022-264-6412

※会場には駐車場がございませんので、公共の交通機関をご利用願います。



平成20年度の卒業式の様子。

平成22年度入学式

4月5日(月) 時間 10:30~12:30 場所 仙台市体育館(仙台市太白区富沢)

新しい学生生活を、賛美歌を歌い、聖書の言葉を聴くことから始めます。入学式の後には、後援会入会式と全学ガイダンスも行う予定です。

お問い合わせ先/総務部総務課 TEL.022-264-6412

※会場には駐車場がございませんので、公共の交通機関をご利用願います。



平成21年度入学式の様子。

アルバイトを探している学生と企業の橋渡し

学生アルバイト委員会

「どこかいいアルバイト先を探したい」という学生のために、アルバイトの斡旋をしてくれる学生アルバイト委員会。その活動ぶりを第59代委員長の遠田さんに聞いてみました。

——主な活動内容について教えてください。

アルバイトを募集している企業からの求人の受付が中心です。新規の受付だけでなく、継続して求人票を掲示するかどうかを確認するため、月に一度定期的な連絡も入れています。顧問という立場の3~4年生を含めると、現在、会員は68名。授業の空き時間を利用し、みんなで持ち回りで業務にあたっています。

——どんなところにやり甲斐を感じますか。

学生アルバイト委員会を利用してくれた企業や学生には、アンケートという形で感想や意見を聞くようにしています。喜びの声や参考になる意見が返ってきたときは、ますます頑張ろうという気持ちになりますね。

——苦労するのはどんなときですか。

新規の企業の担当者には、一度来室していただいておりますが、突発的な動きがあったときは、ちょっと苦労します。例えば2年生が出かけていて、たまたま1年生しかいなかったなんていうときは右往左往してしまうことも。

——今後の目標をお願いします。

学生アルバイト委員会には60年近い歴史があります。当然のことながら現在のメンバーだけでなく、企業や学生、学生会、卒業生など、さまざまな人に支えられて成り立っています。今後もそんな人々たちとのつながりを大切にしながら、学生の縁の下の力持ちとして頑張っていきたいです。



第59代委員長の遠田さん。



■土樋キャンパス
 大学院：文学研究科、経済学研究科、経営学研究科
 法学研究科、法務研究科
 学 部：文学部・経済学部・経営学部・法学部（各3・4年）
 夜間主コース
 〒980-8511 仙台市青葉区土樋一丁目3番1号
 TEL.022-264-6411 FAX.022-264-3030

■多賀城キャンパス
 大学院：工学研究科
 学 部：工学部
 〒985-8537 宮城県多賀城市中央一丁目13番1号
 TEL.022-368-1116 FAX.022-368-7070

■泉キャンパス
 大学院：人間情報学研究科
 学 部：文学部・経済学部・経営学部・法学部（各1・2年）
 教養学部
 〒981-3193 仙台市泉区天沢二丁目1番1号
 TEL.022-375-1121 FAX.022-375-4040

東北学院中学校・東北学院高等学校
 〒983-8565 仙台市宮城野区小鶴字高野123番1
 TEL.022-786-1231 FAX.022-786-1460

東北学院榴ヶ岡高等学校
 〒981-3105 仙台市泉区天沢二丁目2番1号
 TEL.022-372-6611 FAX.022-375-6966

東北学院幼稚園
 〒985-0862 宮城県多賀城市高崎三丁目7番7号
 TEL.022-368-8600 FAX.022-309-2655

οΥΡΑΝΟΣ

「ΟΥΡΑΝΟΣ(ウーラノス)」は「天」を意味するギリシャ語です。ヘブライ人への手紙1章10節は、詩編から引用し「主よ、あなたは初めて大地の基を据えた。もろもろの天は、あなたの手の業である」と記しています。この個所にもοϋρανόςの語が用いられています。

οΥΡΑΝΟΣ ウーラノス
 東北学院大学 広報誌 vol.31

広報誌編集委員会

| | | |
|------|-----------|--------|
| 委員長 | 総務担当副学長 | 柴田 良孝 |
| 副委員長 | 総務部長 | 日野 哲 |
| 委員 | 宗教部長 | 佐々木 哲夫 |
| | 文学部教授 | 楠 義彦 |
| | 経済学部准教授 | 白鳥 圭志 |
| | 経営学部教授 | 佐藤 邦廣 |
| | 法学部教授 | 伊藤 一義 |
| | 工学部教授 | 石川 雅美 |
| | 教養学部准教授 | 山崎 冬太 |
| | 総務部総務課長 | 門脇 邦知 |
| | 総務部総務課長補佐 | 齋藤 信二 |
| | 総務部総務課 | 藁科 明宏 |

東北学院大学広報誌「οΥΡΑΝΟΣ(ウーラノス)」に関するご意見・ご質問をお待ちしております。

本誌における個人情報及び掲載記事の取り扱いについて

本誌に掲載されている個人情報は、本人の了解のもとで本誌に限り公開しているものです。よって、第三者がそれらの個人情報を別の目的で利用することや、本誌の無断転載はお断りしております。

発行日は、7月20日・12月20日です。

発行日 2009(平成21)年12月20日
 編集 東北学院大学 広報誌編集委員会
 発行 東北学院大学
 〒980-8511
 仙台市青葉区土樋一丁目3番1号
 TEL.022-264-6412 FAX.022-264-3030
 URL <http://www.tohoku-gakuin.ac.jp/>
 E-mail uranos@staff.tohoku-gakuin.ac.jp

我ら卒業生

人生に無駄なし



放送会での活動はもちろん、仲間と野球をしたことも忘れられない思い出の一つとか。

自分にとっては身近な大学だったことが、東北学院大学に入学したそもその動機です。高校時代は野球に夢中だったので、入学当初から野球にかかわる仕事につきたいと思っており、それなら放送業界が近道だろうと考えていました。

在学中は放送会に所属しながら、放送局でアルバイトをしたり、アナウンスの講習を受けたりしていました。就職活動も放送業界一辺倒で、その甲斐あってか放送業界への就職が決まり、いつか野球中継をしてみたいという自分の夢が実現しました。文化放送に移ってからは、アトランタオリンピックの中継や、野茂投手のアメリカメジャー第1戦の中継など、多くのスポーツ中継に携わることができました。

放送局に入るのは難しいと思われがちですが、案外何とかなるもの。自分の可能性を

広げるためには、地元だけに留まらず、もっとグローバルに、広い視点を持つことが大切です。東京なら東京で、そこでのつながりは必ず生まれますからね。そんな出会いの一つひとつが、人生をますますおもしろくしてくれます。

長年東北を離れて仕事していると、大学には懐かしさを覚えます。学生時代の友人とのつながりは今も大切にされていて、子供の就職のことで相談したり、番組の感想をFAXで送ってもらったりしています。同じ業界で活躍している方の中にも同窓生がいて、さすがに親近感は湧きますね。

好きな言葉は「人生に無駄なし」。放送作家・タレントの永六輔さんからいただいた言葉ですが、人生の中で無駄なことなど一つもありません。失敗も人生のプラスになると考えて、ぜひいろいろなことにチャレンジしてください。

(株)文化放送 報道制作次長 アナウンサー

鈴木 光裕さん

1979(昭和54)年法学部法律学科卒業。福島テレビや東海ラジオで活躍した後、文化放送へ。スポーツ中継をはじめ、さまざまな番組でアナウンサーを務める。



編集後記

見る間に秋は深まり、冬の訪れを感じるようになりました。クリスマス、新年、入学試験と、本学にとって非常に大切な時期を迎えました。建学の精神を思い起こし、遠くの家族や友人を思いやり、また入学を希望される人が100%の力を出し切って新たな世界に踏み出せるように祈る、そんな季節になりました。本学に関わるすべての人々が、幸せで心温まる日々を過ごせるように願っております。